

V. 参考文献

I. ダリアの基本的な生態と既存作型

- 藤野守弘. 2009. ダリアの自生地と原種. ダリア百科. 誠文堂新光社. 東京 : 128-130
- 小西国義. 1995. ダリア (栽培の基礎). 農業技術大系花卉編(10)シクラメン/球根類. 農山漁村文化協会. 東京 : 351-352
- 小西国義・稲葉久仁雄. 1964. ダリアの促成および抑制栽培に関する研究(第1報)抑制栽培における適正日長について. 園学雑. 33(2) : 171-180
- 小西国義・稲葉久仁雄. 1966. ダリアの促成および抑制栽培に関する研究(第3報)日長が花芽分化および発達に及ぼす影響. 園学雑. 35(1) : 73-79
- 仲 照史. 2012. ダリア (栽培の基礎). 農業技術体系花卉編(10)シクラメン・球根類. 農山漁村文化協会. 東京 : 353-354 の4

II. ウイルス汚染と茎頂培養苗からの種苗増殖

- Albouy J.・M.Lemattre・W.C.Wang・A.Amevel. 1992. Production of pathogen-tested Dahlia in France. Acta Hort. 325 : 781-786
- 浅野峻介・松下陽介・平山喜彦・仲 照史・印田清秀. 2014. マルチプレックス RT-PCR によるダリアからのトマト黄化えそウイルス、ダリアモザイクウイルス、キク矮化ウイロイドの同時検出. 平成 26 年度日本植物病理学会大会プログラム・講演要旨予稿集 : 177
- Dorith Rotenberg・Nallur K. Krishna Kumar・Diane E. Ullman・Mauricio Montero-Astua・David K. Willis・Thomas L. German・Anna E. Whitfield. 2009. Variation in *Tomato spotted wilt virus* Titer in *Frankliniella occidentalis* and Its Association with Frequency of Transmission. PHYTOPATHOLOGY. 99(4) : 404-410
- 江面 浩・本岡竹司. 1990. ダリヤウイルスフリー株の組織培養による大量増殖. 茨城園試研報. 15 : 64-69
- 藤野守弘. 1997. 農業技術体系花卉編(5)育種・苗生産・バイオ活用. 農山漁村文化協会. 東京 : 439-440
- 細川宗孝・中島明子・前田茂一・矢澤 進. 2006. ダリアにおけるキクわい化ウイロイドの感染. 園学雑. 75(別1) : 409
- Hosokawa, M., Matsushita, Y., Uchida, H. and Yazawa, S. 2006. Direct RT-PCR method for detecting two chrysanthemum viroids using minimal amounts of plant tissue. J. Virol. Meth. 131: 28-33
- 松下陽介・伊藤陽子・築尾嘉章. 2007. リアルタイム PCR を用いたキクわい化ウイロイドの定量. 日本植物病理学会報. 73 : 38
- 仲 照史・藤井祐子・細川宗孝・中島明子・前田茂一・浅尾浩史・岡田恵子. 2007. ダリアの茎頂培養が生育とウイルス保毒程度に及ぼす影響. 奈良農総セ研報. 38 : 17-22
- 仲 照史・前田茂一・角川由加. 2007. 茎頂培養株を親株とした挿し芽増殖によるダリア種球生産. 奈良農総セ研報. 38 : 23-30
- 仲 照史・前田茂一・角川由加. 2008. ダリア茎頂培養苗の定植時期が切り花と塊根の生産性に及ぼす影響. 奈良農総セ研報. 39 : 35-36
- 大木 理. 2009. 植物ウイルス同定の基礎. (社)日本植物防疫協会. 東京 : 43-58
- 瀬尾直美・佐藤英典・板橋 建・中村茂雄. 2009. 混合プライマーを用いた RT-PCR によるキクに感染する 5 種ウイルス・ウイロイドの検出. 北日本病害虫研究会報. 60 : 288
- 土屋照二. 1993. ダリアの塊根生産に関する研究. 石川県農業短大特別研究報告. 18 : 1-69
- 土崎常男・栃原比呂志・亀谷満朗・柳瀬春男. 1993. ダリア. 原色作物ウイルス病事典. 全国農村教育協会. 東京 : 553-556

III. 冬春切り作型

- 北村嘉邦・田内康裕. 2013. ダリア‘ネッショウ’における色抜きの抑制に向けた系統選抜と簡易的な管理法の検討. 園学研. (Hort. Res. (Japan))12 (別2) : 228
- 北村嘉邦・田内康裕. 2012. ダリア‘ネッショウ’の色抜きはキメラではなく花芽分化開始以降の低温遭遇によって発生する. 園学研 11(別2) : 268
- 仲 照史・藤井祐子・前田茂一・角川由加. 2009. 挿し芽苗を利用したダリア冬春切り作型における収量・品質の品種間差異. 園学研. 8 (別1) : 548
- 角川由加・仲 照史・藤井祐子・北條真由美. 2010. 挿し芽苗を利用したダリア冬春切り作型における収量・品質の品種間差異 (第2報). 園学研. 9 (別1) : 229
- 角川由加・仲 照史. 2013. ダリア冬春切り作型における電照方法が開花と切り花品質に及ぼす影響. 奈良農総セ研報. 44 : 42-44
- 角川由加・仲 照史・廣岡健司. 2012. 定植時期と採花位置が冬切りダリアの収量と切り花品質に及ぼす影響. 園学研 11(別1) : 440
- 角川由加・仲 照史・虎太有里. 2013. 一定日長下におけるダリアの開花節位と摘心後花日数の時期変動. 園学研 12(別2) : 222
- 角川由加. 2012. 栽培の基礎、技術の基本と実際. 農業技術体系花卉編 10 : 354 の 6 - 360 の 3

IV. ダリアの安定生産と消費拡大のために

- 市村一雄. 2010. 切り花における収穫後の生理機構に関する研究の現状と展望. 花き研報. 10 : 11-53
- 梶原敏宏・梅谷献二・浅川 勝. 1986. ダリア. 作物病虫害ハンドブック. 養賢堂. 東京 : 606-608
- 神納 浄ら. 1991. ダリア. 病虫害防除・資材編第8巻花卉・花木. 農山漁村文化協会. 東京 : 899-933
- 岸 國平. 1988. ダリア. 作物病害事典. 全国農村教育協会. 東京 : 593-596
- 松倉一弘・土井元章・今西英雄. 1997. ダリア切り花の品質保持に及ぼすショ糖および殺菌剤処理の影響. 園学雑. 66(別1) : 440-441
- 仲 照史・辻本直樹・虎太有里・湯本弘子・東 明音. 2014. BA 製剤と糖処理がダリア切り花の日持ち性と品質に及ぼす影響. 園学研. 13(別1) : 417
- Shimizu-Yumoto, H., Ichimura, K. 2013. Postharvest characteristics of cut dahlia flowers with a focus on ethylene and effectiveness of 6-benzylaminopurine treatments in extending vase life. Postharvest Biology and Technology. 86 : 479-486
- 辻本直樹・仲 照史・虎太有里・湯本弘子・東 明音. 2014. BA 製剤散布処理によるダリア切り花の日持ち延長効果における品種間差異. 園学研. 13(別2) : 276